

平成24年度富士見市一般会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

平成24年度予算編成にあたっては、予算編成方針に基づき、市制施行40周年を迎える年に相応しい予算となるよう、第5次基本構想・前期基本計画の着実な推進、市制施行40周年記念事業の実施及び災害に強い安心安全なまちづくりの推進など関連施策を積極的に予算計上し、市民の期待に応え市民生活の向上を更に推進する予算を編成した。

(2) 予算規模

平成24年度一般会計の歳入歳出総額は、287億7,387万8千円となり、前年度に比べ、8億8,493万2千円の減、率にして3%の減となっている。

前年度当初予算では、平成13年度に発行した借換債12億2,386万1千円を計上という特別な要因があったため、この要因を除くと、平成24年度予算では、実質3億3,892万9千円の増、率にして1.2%の増となる。

(3) 財源不足額

歳入歳出予算の計上にあたっては、最少の経費で最大の効果を挙げるよう、全庁一丸となって、事業費の細部にわたる精査や決算ベースを意識した予算計上など、一つひとつ丹念に精査を行ったが、結果として、6億4,941万2千円の財源不足が生じたため、財政調整基金より同額を繰り入れることで対応を図った。

2 歳入予算の主な特徴

(1) 市税

市税の総額は、132億324万2千円となり、前年度に比べ、1億7,517万3千円の減、率にして1.3%の減となっている。

個人市民税は、年少扶養控除等の廃止により約1億7,000万円の増収となるものの、景気の低迷、東日本大震災や円高等の影響により、前年度比6,429万6千円の減となり、法人市民税も前年度比1,612万9千円の減となっている。

固定資産税は、平成24年度が評価替えの年度であるため、家屋が、前年度比1億6,920万3千円の減となったが、土地は、水子地区等の市街化区域再編入に伴い、5,747万1千円の増となった。

都市計画税は、固定資産税と同様の理由により、家屋が前年度比3,076万8千円

の減、土地が1, 516万9千円の増となった。

市たばこ税は、販売本数は減少が見込まれるものの税率改正の影響により、前年度比6, 422万5千円の増となった。

(2) 地方特例交付金

個人市民税の年少扶養控除等の廃止による増収に伴い、地方特例交付金のうち「児童手当及び子ども手当特例交付金」及び「自動車取得税交付金」が廃止となったことから、地方特例交付金は、7, 100万円となり、前年度比6, 900万円の減となった。

(3) 地方交付税

地方交付税の総額は、36億5, 000万円と見込んでおり、前年度に比べ、2億円の増、率にして5. 8%の増となっている。

普通交付税は、地方財政計画を参考に34億5, 000万円と見込み、前年度比1億5, 000万円の増、特別交付税は、これまでの交付状況に鑑み2億円と見込み、前年度比5, 000万円の増となった。

〔参考〕平成23年度普通交付税交付決定額：35億7, 363万4千円

(4) 国庫支出金

国庫支出金は、44億2, 798万5千円となり、前年度に比べ、4億3, 194万2千円の減、率にして8. 9%の減となっている。

主な要因としては、子どものための手当負担金が、前年度比6億346万9千円の減となっている。

(5) 財産収入

財産収入は、4億8, 871万円となり、前年度に比べ、4億7, 567万2千円の増となっている。

主な要因としては、普通財産である旧上沢小学校跡地の一部売却及び鶴馬1丁目市有地の売却により4億7, 597万4千円の収入を見込んだ。

(6) 繰入金

繰入金は、8億1, 554万9千円となり、前年度に比べ、1億6, 104万2千円の減、率にして16. 5%の減となっている。

財政調整基金繰入金は、6億4, 941万2千円となり、前年度に比べ、3億2, 085万9千円の減となった。

緑地保全基金繰入金は、市民緑地「西渡戸」用地購入のため、1億5, 961万4千円を繰り入れた。

〔参考〕財政調整基金残高見込み 平成23年度末：22億2, 539万4千円

平成24年度末：18億3, 084万9千円

(7) 市債

市債は、21億9,770万円となり、前年度に比べ、8億6,696万1千円の減、率にして28.3%の減となっている。

前年度計上した平成13年度発行の借換債12億2,386万1千円が皆減した一方、臨時財政対策債は、地方財政計画を参考に15億円とし、前年度比2億円の増となった。

また、耐震補強工事及び非常用発電設備更新工事に対しては、新たに創設された緊急防災・減災事業債を活用した。(充当率100%・元利償還金の70%を交付税措置)

〔参考〕一般会計市債残高見込み 平成23年度末： 209億5,944万円

平成24年度末： 208億5,694万5千円

3 歳出予算の主な特徴

〔資料〕別紙「平成24年度当初予算の主要事業」及び「市制施行40周年記念事業一覧」

(1) 第5次基本構想・前期基本計画の着実な推進

基本構想に定めた将来都市像の実現に向け、計画に掲げた各施策に重点的に予算配分した。

【主な施策】

- ①文化芸術振興条例制定及び(仮称)文化芸術振興計画策定 46万9千円
 - ・市民参加により文化芸術振興に係る条例及び計画を策定する。
- ②地域防災計画の見直し 805万円
 - ・地震災害震源地想定の変更及び東日本大震災の教訓を踏まえ、地域防災計画を見直す。
- ③富士見市をきれいにする日の取組み 18万5千円
 - ・5月及び11月の最終日曜日(予定)を富士見市をきれいにする日と位置づけ、地域住民との協働により、市内のごみ清掃を一斉に行う。
- ④小・中学生向けのこども医療費支給の窓口払いの不要化 1,270万6千円
 - ・現在、医療機関窓口での一時立替払いが必要な小・中学生向けのこども医療費の助成について、窓口払いの不要化を図る。
- ⑤鶴瀬駅東西口土地区画整理事業の推進
 - ・区画整理事業の事業推進・早期完了を目指し、一般会計より繰出金を支出する。
 - ・鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計への繰出金 2億1,499万2千円
 - ・鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出金 3億4,473万6千円
- ⑥幹線道路市道第5116号線(山王坂交差点)の整備 3,960万円
 - ・交通渋滞緩和のため、上り車線に右折帯を新たに整備する。
- ⑦小・中学校のエアコン整備工事の設計を実施 2,200万円
 - ・学習環境の向上を目指し、市内全小・中学校の普通教室及び特別教室へエアコンを設置するための設計を実施する。

- ⑧勝瀬小学校及び本郷中学校トイレ改修工事 6,938万円
・児童生徒が利用しやすい清潔で明るいトイレへと改修を行う。

(2) 市制施行40周年記念事業の実施

平成24年度は、市制施行40周年を迎える節目の年であることから、ふるさと意識を更に醸成する事業を市民参加・協働により実施する。

【主な施策】

- ①キラリとかがやく市民コンサートの開催 580万円
・地元の音楽家を含めて祝祭のためのオーケストラを編成し、市民公募の合唱団とともに市民参加型の演奏会を開催する。
- ②ご当地バイクナンバープレートの交付 72万3千円
・原動機付自転車のナンバープレートに当市のマスコットキャラクターを入れたご当地ナンバープレートを作成・交付する。
- ③(仮称)富士見市防災シンポジウム 57万4千円
・被災地の関係者を招き、基調講演やパネルディスカッションなどを主体としたシンポジウムを開催する。
- ④プレミアム商品券の発行 2,545万円
・商品券(プレミアム分10%)を発行し、地域経済の活性化を図る。
- ⑤東大久保菜の花フェスタ 51万6千円
・東大久保地区の水田34.5ヘクタールに菜の花を作付けし、菜の花フェスタを開催する。併せて、会場では、地元農産物等の販売を行う。
- ⑥中学生未来会議 2万円
・将来を担う中学生が郷土に対する思いや10年後、20年後のまちや市民の姿について思いを語り、市長と意見交換を行う。
- ⑦古民家結婚式～ちょっと昔の“ご祝儀”を再現～ 35万円
・難波田城公園の古民家を活用して、昭和40年代の結婚式を再現し、記録映像を作成する。新郎新婦役は、当市にゆかりのあるカップルを公募する。

(3) 災害に強い安心安全なまちづくりの推進

災害に対する防災・減災対策として、公共施設の耐震補強工事等を計画的に実施する。

- ①市役所本庁舎及び分館非常用発電設備更新工事 8,848万2千円
(一部窓口のパソコンの稼働、災害対策本部機能維持のための電源供給を含む)
- ②健康増進センター耐震補強工事(体育館部分含む) 8,430万9千円
- ③鶴瀬公民館耐震補強工事 3,416万5千円
- ④第6保育所耐震診断調査(都市再生機構との共同による) 376万3千円
- ⑤南畑公民館耐震補強工事設計(エレベーター含む) 560万円
- ⑥水谷東公民館耐震補強工事設計(エレベーター・大規模改修含む) 770万円

(4) 公共施設の計画的な改修・更新の実施

- ①市役所本庁舎及び分館空調設備更新工事 1億1,218万8千円
- ②ガーデンビーチ床面張替工事 1,800万円
- ③市民総合体育館空調設備・ボイラー改修工事 6,059万円
- ④中央図書館空調設備改修工事(開架部分) 3,769万円
- ⑤水谷公民館エレベーター設置工事 2,930万円
- ⑥学校給食センター空調設備更新工事 1億569万円

(5) その他事業

- ①第2次商業活性化ビジョンの策定 450万円
 - ・市内商業を取り巻く環境の変化を踏まえ、商業活性化ビジョンを見直すもの。
- ②ABC検診の実施 571万円
 - ・胃がんのリスク(危険度)を血液検査で判定するABC検診を新たに導入する。
- ③放射線等対策事業
 - ・公共施設の空間放射線の定点測定及び放射線量低減作業等 400万1千円
 - ・市内全公私立保育所等の給食の放射性物質検査の実施 277万9千円
 - ・学校給食の放射性物質検査の実施 101万9千円

4 主な行財政改革の取組み

(1) 交際費の20%削減

- ・平成23年度 221万6千円 → 24年度 176万5千円 (△45万1千円)

(2) 定員適正化計画の推進

- ・一般会計職員給与費 49億4,490万7千円(対前年度比△9,955万5千円)
- ・全職員数 平成23年度 572人 → 平成24年度 566人 (△6人)

(3) 普通財産の売却

- ・旧上沢小学校跡地売却(32区画のうち19区画) 4億4,237万4千円
- ・鶴馬1丁目市有地売却(3区画のうち2区画) 3,360万円

(4) 市全会計債務残高見込み

- ・平成23年度末 388億7,131万9千円
→ 24年度末 384億3,100万3千円 (△4億4,031万6千円)

(5) 広告収入の確保

- ・市封筒広告料収入 72万円
- ・総合的窓口モニター広告掲載料 96万円
- ・市ホームページバナー広告掲載料 168万円

■平成24年度一般会計予算款別一覧

(単位：千円)

歳 入			歳 出		
款 名 称	本年度予算額	対前年度増減額	款 名 称	本年度予算額	対前年度増減額
市 税	13,203,242	△175,173	議会費	253,910	△32,486
地方譲与税	206,000	3,000	総務費	3,669,910	129,386
利子割交付金	40,000	8,000	民生費	13,026,215	409,319
配当割交付金	25,000	12,000	衛生費	2,054,944	70,050
株式等譲渡所得割交付金	7,000	6,000	労働費	14,379	△2,741
地方消費税交付金	700,000	0	農林水産業費	120,422	△17,820
ゴルフ場利用税交付金	2,000	0	商工費	86,985	2,156
自動車取得税交付金	83,000	23,000	土木費	2,931,596	△102,968
地方特例交付金	71,000	△69,000	消防費	1,210,388	65,305
地方交付税	3,650,000	200,000	教育費	2,566,981	△137,506
交通安全対策特別交付金	13,000	0	災害復旧費	1	0
分担金及び負担金	484,629	18,912	公債費	2,788,147	△1,267,627
使用料及び手数料	279,511	△6,557	予備費	50,000	0
国庫支出金	4,427,985	△431,942			
県支出金	1,562,707	△21,405			
財産収入	488,710	475,672			
寄附金	8,021	6,999			
繰入金	815,549	△161,042			
繰越金	250,000	0			
諸収入	258,824	93,565			
市 債	2,197,700	△866,961			
合 計	28,773,878	△884,932	合 計	28,773,878	△884,932